

1993年9月5日：石垣島川平。バスターミナルから吉原を経由するという7時半の始発バスで川平に向う。左に海を眺められる海岸道路などもあって初めての土地での道中は少しも退屈しないですむのがうれしい。川平公園に着いて、左手に沖縄・八重山諸島各地に特有の大きな墓地在する広い道をどんどん進むと右手に新しく何かの工場が建設されつつある敷地が現れ、そこから先はもう畑地となる。自転車くらいは通れるしっかりした細いあぜ道をさらに進むと、右手には厚みのある防風林、左側一帯はサトウキビの収穫あとだろうか荒れほうだいとなった畑地にシロノセンダングサが恰好の花畑を形成している場所に出る。防風林木陰の高い位置からいきなり大型のオオゴマダラが現れる。そのゆったりとした



石垣川平 Sep.5,1993 リュウキュウアサギマダラ 石垣川平 Sep.5,1993 リュウキュウアサギマダラ

飛翔には独特の風格を感じる。周りをよく観察すると左手遠くの畑地との境界にある林周辺にもフワリフワリと数頭のオオゴマダラが漂うように舞っているのが見える。

2007年11月3日：オモト林道のシロオビヒカゲが期待できる竹林のあるブッシュは、ハブが好みそうな環境でもあり、ネット棒で足元を叩きながら入り込むと、かなり遅い時間帯にもかかわらず白い花の咲く植物群にリュウキュウアサギマダラとスジグロカバマダラが蜜を求めて集っている。ここ数年少なくなった印象のリュウキュウアサギマダラの乱舞をみるのは久しぶりだし、スジグロカバマダラは、やはり群れて飛ぶ姿が様になる。うすぐらい林縁を新鮮なリュウキュウヒメジャノメが飛ぶが、夕暮れ近く



くにこそ活動をはじめるシロオビヒカゲの姿はみられず。

2007年11月4日：西表島到着後は、信号そばのオリックス事務所で予約したレンタカー：

HONDA Fit を利用し、雨が本降りとならないうちに南風見田地区で蝶探索をする。昔に訪れた浜辺へと続く路傍の林周辺で、オモト林道でみた個体より鱗粉が褪せているせいか近似の迷蝶かと思ってしまうリュウキュウアサギマダラと配偶行動をみせるオオゴマダラを見られた以外に成果はなく、タイワンヒメシジミが今年も南風見田で発生していると聞くが発生ポイントを見つけることはできず。

